

将来構想策定に向けた検討の進め方

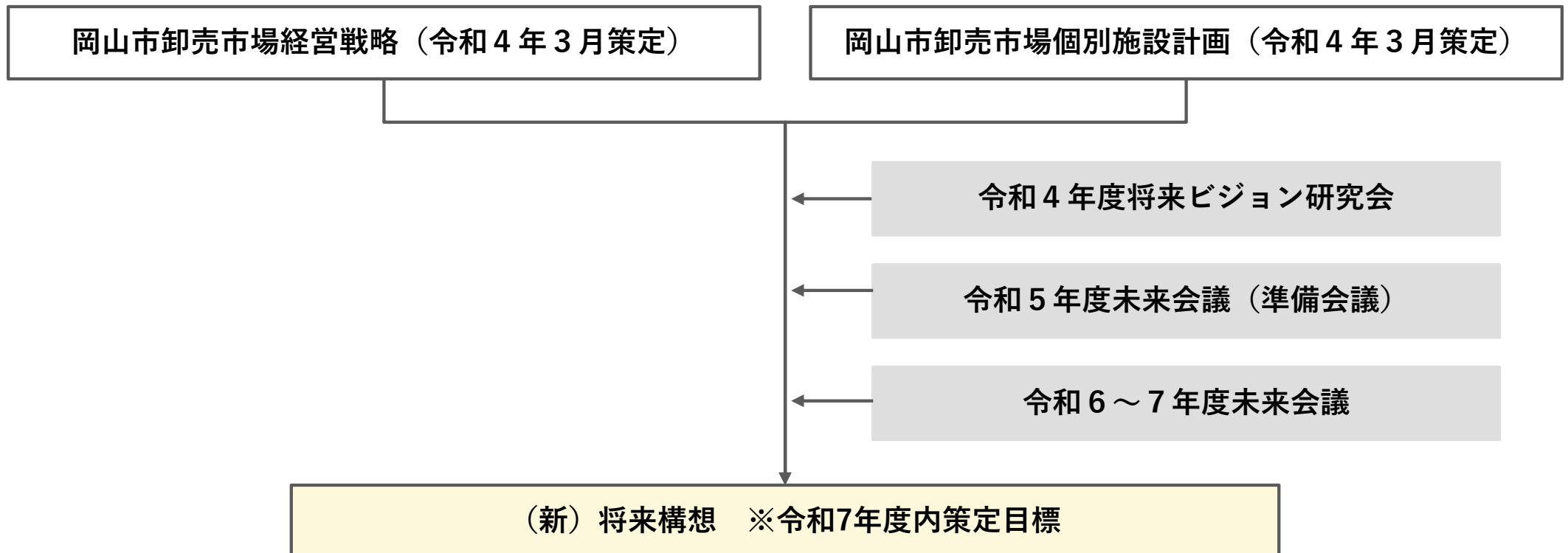
第1回岡山市場未来会議

令和6年7月19日（金）

1. 議論の経緯と「将来構想」の位置づけ

- 令和6年度から2か年をかけて、岡山市中央卸売市場等(以下「岡山市場」という)の今後の方向性を取りまとめた「将来構想」を策定する。
- 将来構想の策定に向けて、学識経験者、市場関係者、出荷団体、小売事業者、金融事業者、消費者、開設者等によって構成される「岡山市場未来会議」を開催し、岡山市場の今後の方向性を見定めるために検討すべき課題・論点について、議論を行う。
 - 論点例：持続可能な市場とは、地域経済における卸売市場の役割、効率的な市場業務のあり方、適切な事業規模、必要機能等
- なお、将来構想については、「岡山市卸売市場経営戦略（令和4年3月策定）」や「岡山市卸売市場個別施設計画（令和4年3月策定）」を参照しながら、令和4年度の「将来ビジョン研究会」や令和5年度の「未来会議（準備会議）」における議論の経緯をふまえ、改めて、岡山市場の今後の方向性を取りまとめるものとする。

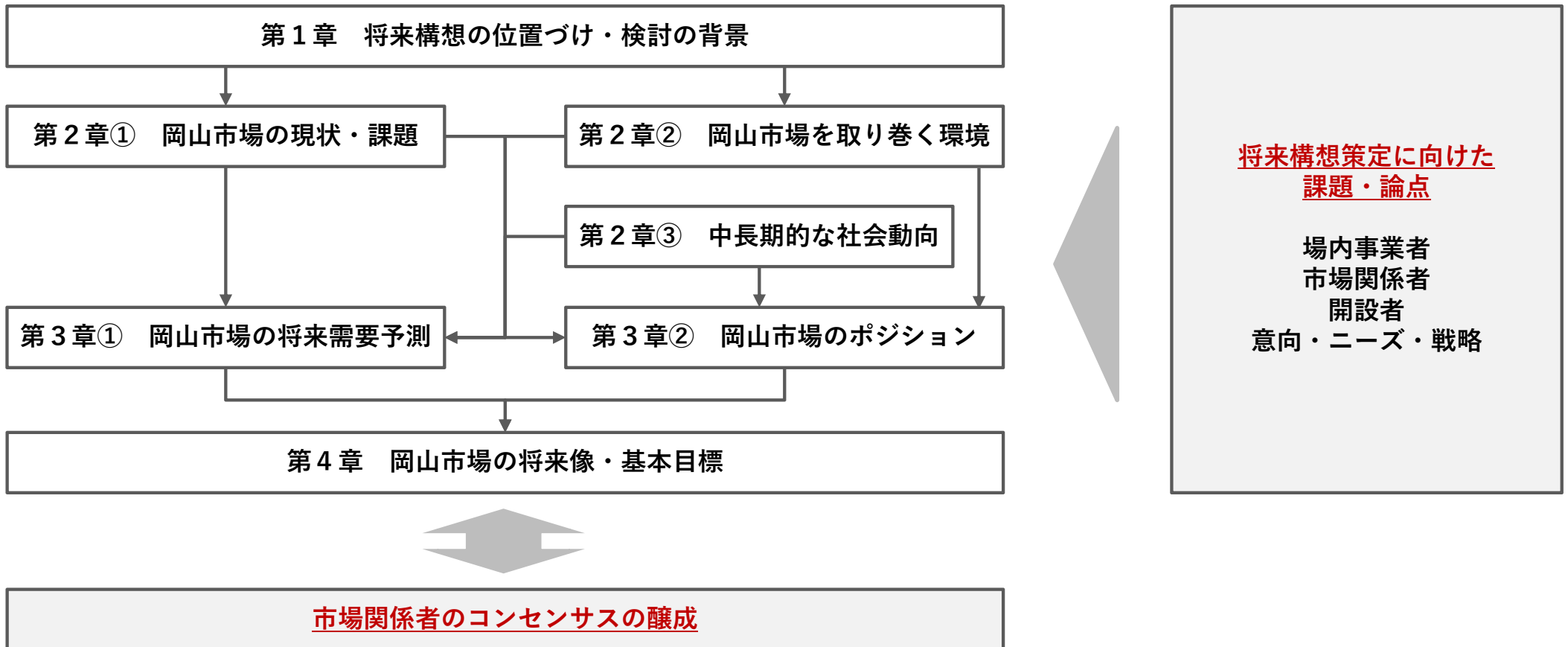
【将来構想の位置づけ】



2. 将来構想の構成

- 岡山市場の現状や取り巻く環境、中長期的な社会動向を丁寧に整理・分析したうえで、岡山市場の将来需要予測や、岡山市場として活かすべき特徴や目指すポジショニングについて検討し、岡山市場の将来像（Vision=どのような状態を目指すか）と基本目標（Mission=Visionの実現のために何をすべきか）を設定する。
- 将来像と基本目標を設定したうえで、その実現に向けて、短期～中長期の期間のなかで具体的にどのような取組を行うのかを検討し、その骨格を基本戦略として取りまとめるとともに、着実に実現するためのロードマップを作成する。

【将来構想の構成】



3. 将来構想策定に向けた課題・論点の視点

- 過年度の議論をふまえ、「公的役割の発揮と持続可能性の追求」「競争力強化・生産性向上」「経営基盤・環境の改善」の3つの視点から、岡山市場の将来像・基本目標の実現に向けた短期的・中長期的な対応の方向性を整理するとともに、市場関係者の議論をふまえて、具体的な取組内容や取組の優先順位について検討する。

<将来像・基本目標イメージ>

※岡山市場としてどういった状態を目指すのか、どのような役割を担っていくのか

過年度の議論を踏まえた検討の視点

公的役割の発揮と
持続可能性の追求

競争力強化・生産性向上

経営基盤・環境の改善

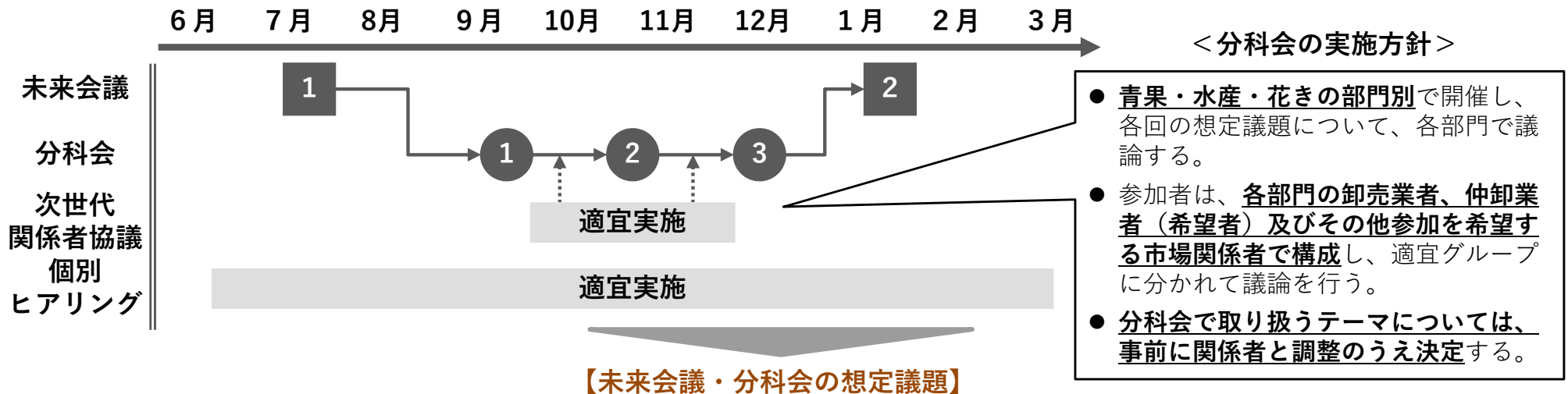
課題・論点の整理

- 課題・論点のうち、重点検討事項について分科会等で議論
 - ・ 短期的・中長期的な対応事項の整理
 - ・ 具体的な取組内容・取組の優先順位の検討

4. 将来構想策定に向けた検討の進め方（令和6年度）

- 令和6年度は、令和6年7月及び令和7年1月に未来会議を開催する。
- 未来会議の間に、特に重点的に検討すべき課題について、場内事業者を中心とした市場関係者による密な議論を行うために、部門別の分科会を3回程度開催する。
- その他、未来会議及び分科会と連動して、次世代を担う若手職員との協議や、各市場関係者との個別ヒアリングを実施する。

【令和6年度の検討の進め方】



会議	議題
第1回岡山市場未来会議	<ul style="list-style-type: none"> ■ 将来構想の位置づけ、検討の進め方の確認、将来構想構成イメージの共有 ■ 岡山市場の基礎情報、社会動向、先進事例等をふまえた、将来構想の策定に向けた課題・論点に関する協議
第1回分科会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 将来需要予測、岡山市場の特徴・ポジショニング（たたき台、未来会議での意見を反映）の共有 ■ 視点①「公的役割の発揮と持続可能性の追求」の協議
第2回分科会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 視点②「競争力強化・生産性向上」、視点③「経営基盤・環境の改善」の協議
第3回分科会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 視点①～③の協議を踏まえた、岡山市場の将来像・基本目標に関する協議 ■ 将来構想中間案・素案（事務局にて分科会①②の議論を整理）の提示、協議
第2回岡山市場未来会議	<ul style="list-style-type: none"> ■ 分科会を踏まえた、将来構想中間案・素案の提示、議論 ※取りまとめに向けた修正内容の確認